

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果

文部科学省では、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的に、平成19年度から「全国学力・学習状況調査」を実施しています。

この調査では、国語および算数(数学)が毎年度、理科および英語(中学校のみ)が3年に1度の調査となっています。

今年度は、児童生徒373人を対象に、国語および算数(数学)の教科に関する調査と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を行いましたので、その結果を公表します。

教育委員会では、本調査結果を活用し、児童生徒の学力の傾向や学習、生活の状況を把握・分析するとともに、一人ひとりが確かな学力を身に付けられるよう、学習指導の改善や学力向上の取り組みへの指導助言などに努めていきます。

◆生活習慣や学習環境に関する 質問紙調査結果(主なもの)

質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合を示したものです。

朝食を毎日食べている

	小学校6年生	中学校3年生
幕別町	95.3%	94.0%
全道	92.0%	89.3%
全国	93.7%	91.2%

将来の夢や目標を持っている

	小学校6年生	中学校3年生
幕別町	94.8%	70.8%
全道	81.6%	65.4%
全国	82.4%	66.3%

学校に行くのは楽しい

	小学校6年生	中学校3年生
幕別町	88.0%	87.6%
全道	81.8%	81.2%
全国	84.8%	83.8%

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

	小学校6年生	中学校3年生
幕別町	87.5%	82.7%
全道	83.3%	73.8%
全国	83.5%	76.1%

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている

	小学校6年生	中学校3年生
幕別町	86.0%	82.1%
全道	79.5%	74.7%
全国	80.8%	77.9%

◆教科に関する調査結果(国語／算数・数学)

	小学校6年生	中学校3年生
全体的な傾向	○国語は全国平均・全道平均を上回り、算数は全道平均とおおむね同様だったものの、全国平均を下回った。	○国語は全国平均・全道平均を上回り、数学は全道平均を上回ったが、全国平均を下回った。

○理解している・身に付いている内容

教科	小学校6年生	中学校3年生
国語	○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること ○話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること	○文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること ○文の成分の順序や照応について理解すること ○短歌の内容について、描写を基に捉えること
算数 数学	○除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解すること ○角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述すること ○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること	○問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすること ○グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈すること ○事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すこと

○課題のある内容

教科	小学校6年生	中学校3年生
国語	○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること ○文の中における主語と述語との関係を捉えること ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること	○資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと ○話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること ○文脈に即して漢字を正しく書くこと
算数 数学	○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること ○道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること ○示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること	○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること ○与えられたデータから最頻値を求めること ○複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること

問 教育委員会学校教育課学校教育係 (☎ 54-2006)